

前原みなみ人権だより

NEWS FROM HUMAN RIGHTS



(第81号)令和8年11月1日発行
糸島市人権・同和教育推進協議会
前原南支部 ☎324-1763

前原南校区

日 時

入場
無料

夫婦って
いいな

人権映画祭

12月5日(土)

14時00分 上映開始

離婚秒読みの金婚熟年夫婦を救ったのは・・・
なんと“お終活”だった!?

Let's 定年後夫婦の楽しい過ごし方



～ ストーリー～

熟年離婚寸前の夫婦が、葬儀社の男から紹介された終活フェアをきっかけに、てんやわんやの大騒ぎ! 人生百年時代と言われる今、定年後に訪れる「熟年の青春=熟春」を明るく迎えるために人生整理に動き出す家族の騒動をコミカルに描いた「笑って」「泣けて」「役に立つ」ヒューマンコメディです。!!



日 程 13時15分～開場(受付)

13時30分～開会

人権標語 表彰式

14時00分～上映開始(1時間53分)

16時00分～閉会

会 場 前原南コミュニティセンター 大研修室

定 員 150名

問合せ先 前原南コミュニティセンター

Tel.324-1763

※駐車場は、前原南小学校運動場に準備しております。

13時30分 人権標語 表彰式

今年もたくさんのご応募ありがとうございました。
一般の方々と南小の児童の皆様から、合計 558
作品の応募がありました。
その中から選ばれた作品の表彰式があります。
お時間がある方は、上映前の表彰式にもご出席お
願いいたします。

◆◆◆令和8年度 前原南校区人権標語優秀作品◆◆◆

今年も、前原南小学校の児童や地域の方々へ、人権をテーマにした標語を募集しました。応募総数558点というたくさん作品が集まりました。審査委員泣かせの作品ばかりで、頭を悩ませ意見を交わしながら作品を選びました。選ばれた標語は人権映画祭で表彰されます。

【小学生】

「これあげる」 いたいのとんでく ばんそうこう」

1年3組 中山 そよ

「こまってる人 見つけたら ゆう気を出して

『大丈夫?』

2年2組 塚谷 心

「ともだちと なかよくあそんで にっこにこ」

3年1組 もりの あかと

「笑うなよ ピンクのソックス おしゃれだろ」

4年1組 中山晴太郎

「ぼうげんは 言われたがわは おぼえてる」

4年3組 富高 麻衣

「SNS 画面の向こう 人がいる」

5年1組 吉田 奈央

「見てるだけ それはいじめの 一歩かも」

5年2組 大熊 咲依

「ちがう窓 のぞけば見える きみの良さ」

6年2組 中野 結月

「画面より 目と目を合わせて 話そうよ」

6年4組 浜田 陽菜

一般の部

「日常に 気づきは心へは心の 実践を!」

笹山町 仲尾 芳江

敬称略

第67回福岡県人権・同和教育夏期講座に参加して

8月4日 アクロス福岡にて
今年のテーマは、「みんなの力で一人ひとりが大切にされる人権のまちづくりを進め、人権と共生の二十一世紀を実現しよう!」でした。

午後の部は、差別のない人権尊重の街づくりを目的として設置された「川崎市ふれあい館」の館長「崔江以子」(在日三世)さんの講演で「差別のない社会を子供たちにつなぐために」でした。

午前の部は、現在、芸能活動以外にも個人で国内外問わず支援活動を続けているサヘル・ローズさんの講演で「出会いこそ生きる力」でした。ローズさんはイラン・イラク戦争で孤児になり七歳まで名前もなくイランの孤児院で過ごしました。その後、養子縁組で母になったフローラさんに名前を付けてもらい、そして八歳で来日しました。

在日コリアンが多く暮らす桜本地域では、ヘイトデモが行われ「日本から出ていけ」「朝鮮人をたたき出せ。」といった言葉が飛び交っていました。その後2016年3月ヘイトスピーチ解消法の成立につながったが、差別の問題は形を変えて続いている。一人ひとりが差別を見逃さず、行動することで作られていく。誰もが持つてしまう差別の意識に気づき、正していく力を身に着けるためにも様々な人権問題についての学びを続ける必要がある。教育は、差別を再生産することも止めることもできる。子供たちを被害者にも被害者にもしない教育は共生社会の礎であると話をされました。

困は、国や自治体が真剣に取り組まなければならないこと、他者と思いやり寄り添い生きて良かったと言える人生であること」などでした。

今回どちらの講座も様々な人権課題についての学びを深める場となり有意義な研修でした。

市同協前原南支部長

豊田 恵子